

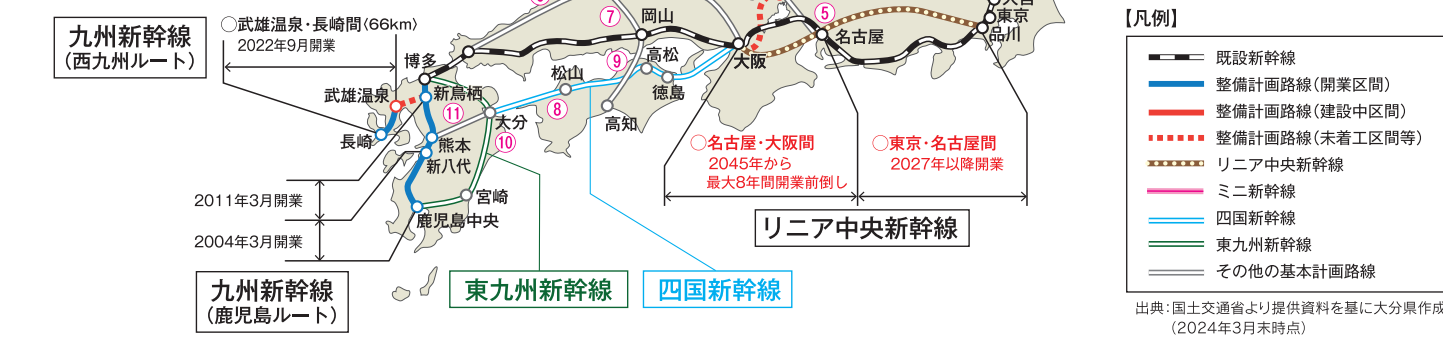
# 全国の新幹線鉄道計画等の状況

【基本計画路線の一覧】(地図上の○数字)

※は、基本計画上の経由地

路線	起点	終点
①北海道新幹線	札幌市	旭川市
②北海道南回り新幹線	長万部町	札幌市
③羽越新幹線	富山市	青森市
④奥羽新幹線	福島市	秋田市
⑤北陸・中京新幹線	敦賀市	名古屋市
⑥山陰新幹線	大阪市	下関市
⑦中国横断新幹線	岡山市	松江市
⑧四国新幹線 <sup>※1</sup>	大阪市	大分市
⑨四国横断新幹線	岡山市	高知市
⑩東九州新幹線 <sup>※2</sup>	福岡市	鹿児島市
⑪九州横断新幹線	大分市	熊本市

※1 徳島市、高松市、松山市付近を經由 ※2 大分市、宮崎市付近を經由



九州・四国・関西  
ともに未来を創造する  
路を描こう

# 大分県 広域交通ネットワーク構想

Oita Interregional Transport Network Plan

# 九州・四国の高規格道路の整備状況





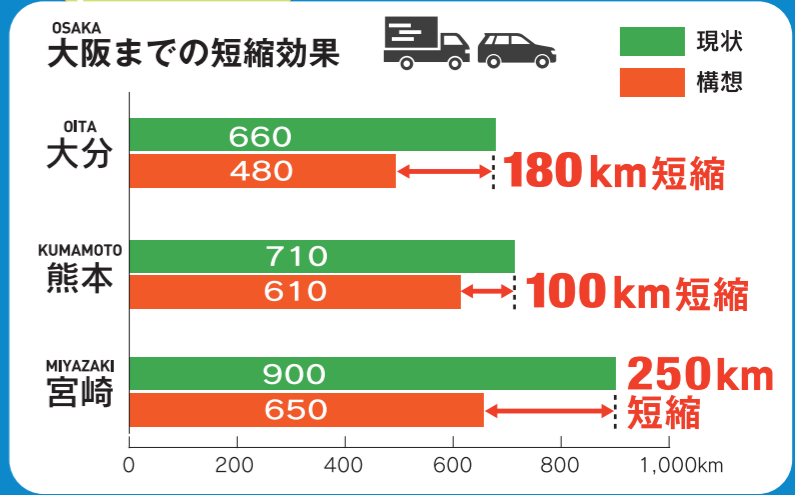
# 広域交通ネットワーク(新幹線、高規格道路)が整えば 日本全体に大きな効果

九州と本州と結ぶ陸上ルートについて、これまでの関門海峡1本だけのルートに豊予海峡ルートが加わると、国土軸のダブルネットワークが形成され、日本全体の国力強化につながります。

**日本中央回廊の形成  
【スーパーメガリジョン構想】**  
リニア中央新幹線の開業(2045年から最大8年前倒し)により東京～名古屋～大阪が約1時間

**関門海峡の年間利用状況(2022年)**  
自動車2,274万台<sup>※1</sup>  
橋+トンネル  
鉄道2,189万人<sup>※2</sup>  
新幹線+在来線

**豊予海峡の年間利用状況(2022年)**  
フェリー4航路  
旅客 99万人  
自動車 54万台



## 期待される効果

- 九州の強みのさらなる強化**
  - ◎半導体、自動車、農林水産物などの生産性向上・成長力強化
  - ◎合計特殊出生率が高い九州から日本の人口減少に歯止め(全国トップ10に7県)
- 圏域外(関西や中国、四国地方)との交流促進**
  - ◎関門海峡と豊予海峡ルートのダブルネットワーク形成による人流・物流の増大、サプライチェーンの強靱化、3本の本州四国連絡橋を活かした広域観光圏の創出
- 災害に強い国土づくり**
  - ◎南海トラフ地震や頻発・激化する気象災害などへの強靱化(レジリエンス)、災害発生時の代替経路(リダンダンシー)の確保

※1 NEXCO西日本提供  
※2 JR西日本「区間別平均通過人員および旅客運輸収入」(2022年)  
JR九州「線区別ご利用状況」2022年度  
※3 人口は令和2年国勢調査



